

「新刊紹介 2月号！！」



「扇物語」 西尾 維新



“お洒落にならない化物として。吸血鬼さえ、敵ではないほどの。”友人の食飼命日子に彼氏との仲違いを相談された阿良々木暦。自身も戦場ヶ原ひたぎから別れを告げられたばかりだった。謝罪の言葉と共に。

「教室に並んだ背表紙」 相沢 沙呼



寂しくて、迷ってしまったときは“物語”を読んで。図書室を舞台に、“読書”との出会いで変わっていく少女たちの心模様を描く、全六篇の連作短編集。

「後宮の花は偽りに惑う」 天城智尋



皇帝夫妻、再び行方不明に！？相国東部の山岳部で武装蜂起したという一報が、皇帝夫妻に身代わり中の翔央と漣珠の元に届く。しかも、部族に囚われた民の中に、本物の皇帝夫妻と思わしき二人が含まれているという。

「放課後探偵団 1・2」 相沢 沙呼



ミステリ界の新たな潮流を予感させる新世代の気鋭五人が描く、学園探偵の活躍譚。

「元彼の遺言状」 新川 帆立



「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」奇妙な遺書を残して、大手製薬会社の御曹司・森川栄治が亡くなった。学士絵時代に彼と三か月だけ交際していた弁護士剣持麗子は、犯人候補に名乗り出た栄治の友人の代理として、森川家主催の「犯人選考会」に参加することになった。数億円ともいわれる遺産の分け前を獲得すべく、麗子は自らの依頼人を犯人に仕立てあげようと奔走するが__。

「スマホ脳」 アンデシュ・ハンセン



平均で一日四時間、若者の二割は七時間も使うスマホ。だがスティーブ・ジョブズを筆頭に、IT業界のトップは我が子にデジタル・デバイスを与えないという。なぜか？睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存__最新研究が明らかにするのはスマホの便利さに溺れているうちにあなたの脳が確実に蝕まれていく現実だ。

